

平成30年度 第2回 エルシーブイ放送番組審議会 議事録

■開催日時 平成30年9月12日(水) 午後1時30分～午後3時30分

■場 所 エルシーブイ株式会社 本社1階会議室

■出席者 委員総数 5名

出席委員(5名)

市川 純章 委員

河西 滋子 委員

杉本 研一 委員

井上 淳哉 委員

菊池 大介 委員

放送事業者側(7名)

吉野 祐輔 取締役常務

佐久 章展 放送制作部長

柳原 正 放送制作部 制作課長

吉田 和晃 放送制作部 報道課長

八幡 聡 放送制作部 企画広告課長

山岡 正和 放送制作部 制作課

原田 久美子 事務局

■議 事

1. 審議事項

【審議番組】 「下諏訪町 町制施行125周年記念番組
～中山道と甲州街道が出会う大社といで湯の宿場まち 下諏訪町」

<委員からの主な意見>

□評価意見

- ・限られた番組の長さの中で題材の取捨選択に苦労した努力に敬意を表したい。
- ・下駄スケートの時代からスケートをしていた方と町の歌を作った方については、お二人の人生と町の歴史とがオーバーラップしていると感じた。
- ・下諏訪を知るための資料としてはよかった。
- ・アーカイブとしてはまとまっている。
- ・125周年記念として、町で暮らしていたり町に関わってきた人に向けては良かった。
- ・町の歌を作った人のシーンは、毎朝聴こえている曲がバックに流れていたりして、町民として胸が熱くなった。
- ・アーカイブ映像はよかった。期待通りのものや、意外な発見もあった。

□指摘意見

- ・上手にまとまっはいるが、LCVで制作したにしては無難で凡庸だった。
- ・行政の番組の制作は難しいのだろうと感じた。
- ・内容的に練り足りないと感じた。
- ・ストーリーがなかった。企画の段階でもっと練れたのではないか。
- ・写真がモノクロのせいかわく暗く感じた。また写真の説明のナレーションが「～でした」等で終わって絵日記っぽく感じた。全体のストーリーを最初から最後まできちんと作った上で写真構成を考えた方が、もっと整理された番組になったのではないか。
- ・内容が多すぎてぼやけてしまっている。もっとポイントを絞って制作した方がよい。
- ・昔のことだけでなく、現在の映像なども入っていればもっと番組が充実したのでは(自然やスケート)。
- ・比較対象として昔と現代の建物や町並みなどを並べて入れると、説得力があったのでは。
- ・諏訪の精密の歴史を紐解く上で下諏訪町の企業や人の果たした役割は非常に大きかったと思うが、精密についてはさらっと取り上げる程度だったので、製糸から精密への移り変わり等、もっとドラマがあってもよかった。
- ・飛行場の話は映像もあって興味深く見たが、飛行場を作った目的等に触れておらず疑問が残った。
- ・飛行場が畑になった理由の説明がないなど、消化不良だった。
- ・サブタイトルと内容が合っていない。お舟祭りや御柱祭、温泉などの紹介がないとサブタイトルが活きてこない。
- ・内容から見れば別のサブタイトルの方がよかった。
- ・インタビューの順番が、母親(子育ての話)からウォーキングの男性、また母親(子育ての話)になっていたのは違和感を感じた。

- ・インタビューを受けている方のお子さんが先に映り、ご本人の顔がしばらく映らなかったのはどうなのかと思った。
- ・スケートはちょっと尺が長かった。町の歌はちょうどよかった。
- ・オープニングとエンディングの町長の話は不要では。町民インタビューもちょっと冗長だった。
- ・画面右上のテロップが長くて小さく、何が書いてあるのか読めなかった。
- ・ヤシカを知らなかったなので、DVDを見ながら検索した。視聴者は町民だけではないので、名称等にもう少し説明がほしい。
- ・最近では転入者や起業者が増えていることも踏まえ、次の150周年に向けての出発点としての余韻があればよかった。

2. その他

□花火生中継について

- ・8月15日の花火中継で、MCの女性は誰だろうと思ったが、ホームページや番組表を見てもわからず、テロップもなかった。最後まで見ていてやっと紹介があった。説明不足だと思う。